**気仙沼市・東京海洋大学連携事業「“海と生きる”連続水産セミナー８ｔｈシーズン」**

**開催概要**

**【趣旨】**

　漁業者・水産関連事業従事者等の知識・情報力アップの一助とするため，日本で唯一の海洋に関する総合大学である東京海洋大学の知見を活かし，かつ学・民・官の幅広い講師陣による公開講座を連続的に開催し，資源，加工，流通，冷凍冷蔵等，水産に係る広範な事項について学ぶ機会とします。なお，新型コロナウイルス感染症対策として，**「オンラインでの受講」も可能としています。**

**【主催】**

気仙沼市・東京海洋大学

**【開催日程及びテーマ】**

**第１回　日時：令和４年３月２３日（火）午後３時～午後５時**

**場所：気仙沼市水産研修センター　２階　研修室（住所：気仙沼市港町499）**

**（オンラインで受講を希望される方は，受講用URLをお送りしますので，**

**受講申し込みの際にメールアドレスもご連絡願います）**

**テーマ：「世界の海で何が起きているのか」**

**講　師：森下　丈二（東京海洋大学　海洋政策文化学部門　教授）**

**要　旨：日本の漁業生産量は１９８０年代後半をピークに減少を続け，近年は最盛期の約３分の１にまで落ち込んでいる。加えて，漁業就業者数の減少と老齢化，水産物消費の減少（魚離れ）などに直面し，右肩下がりの状況にある。他方，世界に目を向けると，漁業生産量は養殖業の急速な拡大により増大し，水産物消費量も増大傾向にあるなど，まさに成長産業とみなされている。なぜこのようなことが起こっているのか，世界から日本漁業再生のヒントは得られるのかを論じる。**

**講師経歴：京都大学農学部水産学科卒業。農学博士（京都大学）。1982年に水産庁入庁。主に国際漁業交渉や海洋環境問題に従事し，マグロなどの国際漁業管理，捕鯨問題などを担当。2013年より水産総合研究センター（現 水産研究・教育機構）国際水産資源研究所所長を経て，2016年4月より東京海洋大学教授に就任。北太平洋漁業委員会（NPFC）科学委員会議長，国際捕鯨委員会（IWC）議長などを務める。**

第２回 令和４年４月中旬　午後３時～午後５時

テーマ・講師：調整中

※第２回以降のセミナーについては，あらためてご案内いたします。

**【その他】**

連続講座ですが，随時受講も可能です。

経営者，または将来の経営幹部候補職員等の受講を期待しておりますが，テーマに

よっては，若手職員の研修の場としていただきたいと考えております。

**【問合せ・連絡先】**

気仙沼市産業部水産課(22-6600内線514 [suisan@kesennuma.miyagi.jp](mailto:suisan@kesennuma.miyagi.jp) 担当：吉田）

東京海洋大学三陸サテライト（29-6719・担当：小松）

　　　　　　　　　　　　　　　　　※裏面にこれまでの開催実績を掲載しています。

「“海と生きる”連続水産セミナー」開催実績（第４期～）　※所属等は開催当時のものです。

【第４期】

|  |  |
| --- | --- |
| 第１回  H29.12.6 | テーマ：「国内外比較から見た我が国産地漁港・魚市場における情報通信技術の活用の可能性  ～漁業地域再生プロジェクトの今後の展開を踏まえて～」  講　師：中泉　昌光（東京海洋大学 先端科学技術研究センター 特任教授） |
| 第２回  H30.1.30 | テーマ：「次世代の水産業を担う若手人材はどう育てる？  　　　　～グローバル化のさらなる推進を見据えた人材育成の考え方～」  講　師：小松　俊明（東京海洋大学　グローバル人材育成推進室　教授） |
| 第３回  H30.3.17 | テーマ：「どうなる日本の漁業　―北太平洋漁業委員会（NPFC）でのサンマ、サバをめぐる議論を追うー」  講　師：森下　丈二（東京海洋大学　海洋政策文化学部門　教授） |
| 第４回  H30.4.26 | テーマ：「カツオの国際資源管理の動向について」  講　師：福田　工（水産庁資源管理部国際課　調査官）  テーマ：「西日本での春期鰹漁況と、鰹一本釣船の漁況について」  講　師：東　明浩（宮崎県水産試験場　専門技師）  テーマ：「カツオの成長・群わけと東北海域における今期の来遊予測」  講　師：谷津　明彦（（一社）漁業情報サービスセンター　技術専門員） |
| 第５回  H30.5.23 | テーマ：「日本の水産業の新たな発展に資する水産エコラベル構築を目指して」  講　師：垣添直也（一般社団法人マリン・エコラベル・ジャパン協議会会長、元東京海洋大学理事・日本水産㈱前社長） |

【第５期】

|  |  |
| --- | --- |
| 第１回  H30.12.6 | テーマ：「世界の漁船漁業と漁船員教育の現状」  講　師：酒井　久治（東京海洋大学　海洋資源エネルギー学部門　教授） |
| 第２回  H31.1.24 | テーマ：「選ばれる日本」を目指す労働力確保と育成の視点  ～外国人労働力に支えられる日本の水産業の未来を考える～  講　師：小松　俊明（東京海洋大学　グローバル教育研究推進機構　教授） |
| 第３回  H31.3.15 | テーマ：「正しい冷凍技術の理解と新規水産事業展開の可能性」  講　師：鈴木　徹（東京海洋大学　食品生産科学部門　教授） |
| 第４回  H31.4.15 | テーマ：「水産業の成長産業化と新しい資源評価・管理」  講　師：田中　健吾（国立研究開発法人　水産研究・教育機構　理事） |
| 第５回  R元.5.22 | テーマ：「海洋プラスチックごみに関する調査研究の現状と課題  　　　 ～マイクロプラスチックについて分かっていること、まだ分からないこと」  講　師：東海　正（東京海洋大学　理事（教育・国際担当）兼副学長） |

【第６期】

|  |  |
| --- | --- |
| 第１回  R元.12.5 | テーマ：「最適航路の考え方と自動運航船の現状」  講　師：庄司　るり（東京海洋大学　副学長（学生支援・広報担当）） |
| 第２回  R2.2.15 | テーマ：「環境技術と水産業」～環境事業への取組みのきっかけと環境コンサルタントの必要性  講　師：田畑　日出男（いであ株式会社代表取締役会長・一般社団法人楽水会会長） |

【第７期】

|  |  |
| --- | --- |
| 第１回  R2.11.27 | テーマ：「スマート水産業の可能性と課題―電子商取引を中心として―」  講　師：婁　小波（東京海洋大学　海洋政策文化学部門　教授） |
| 第２回  R3.1.14 | テーマ：「水中ロボットを使った水産業とその未来：持続可能な地域産業と豊かな海へ」  講　師：和泉　充（東京海洋大学　海洋資源エネルギー学部門　教授） |
| 第３回  R3.3.10 | テーマ：「IUU（違法・無報告・無規制）漁業の問題とこれからの漁業・資源管理－水産政策の改革を踏まえて－」  講　師：松井　隆宏（東京海洋大学　海洋政策文化学部門　准教授） |
| 第４回  R3.6.7 | テーマ：「水産情報のスマート化－漁業情報サービスセンターの取組み」  講　師：和田 時夫（一般社団法人　漁業情報サービスセンター　会長）外６名 |